

## 京都市立洛央小学校スローガン 『ともに 学ぶ』

子ども同士で学び合う

友に

共に

子供に

併に

朋に

教職員同士で学び合う

学校・家庭・地域が子どものために一緒に学び合う

子どもの姿から学ぶ

学校・家庭・地域が子どもにより沿って学びを支える

誰もが成長できる場

保護者

子ども

行きたい！  
行かせたい！  
洛央小へ

地域の方

教職員

## 学校教育目標

人を大切に、心ゆたかにたくましく生き抜いていく子

—知恵を出し合い、みんなで問題を解決する力を育てる—

## 目指す子ども像

智:自分で考え解決に向けて挑戦できる子

心:自分も人も大切にできる子

体:元気で笑顔いっぱいの子

## 目指す教職員像

智:個に応じた指導・支援ができる教職員

心:子どもに寄り添い、当事者意識をもつ教職員

体:危機管理意識を高め、笑顔と声掛けを心がける教職員

## 目指す学校像

智:プロフェッショナルが集まる学校

心:一人一人を大切にする学校

体:安心・安全な学校

教職員が一番頑張ること 『よく観て、一人一人のよさや可能性を見つけ、引出し、伸ばす！』

\*以下、(行動目標)(重点策)は全教職員で作成

## 智:テーマ『学びに夢中！』

～行動目標～

『子どもが夢中になる授業づくり』

～重点策～

◇やりたいを引き出す授業づくり

・赤ペンを活用したコメント記入

・個に応じた言葉がけ、問いかけの充実

・ともに学び合う時間の設定

◇教職員の指導力の向上

・【研究の日】の活用

・【ぶらり授業参観】の実施

・校内勉強会【通称:洛ペディア】の実施

・【通称:明読】を活かした教材研究

## 心:テーマ『笑顔の輪！』

～行動目標～

『いつでも、どこでも、だれとでも』

～重点策～

◇子どもの笑顔を引き出す挨拶の推進

・教職員が率先し、【先大見笑(先に、大きな声で、相手の目を見て、笑顔で)】の挨拶

◇教職員の子ども理解を深める

・子どものよさを即フィードバック

・笑顔で傾聴し、言葉をかける

◇子どもの心を耕す

・人権感覚を養う【心の日】の実施

・児童会活動の充実(縦割りあそびなど)

## 体:テーマ『エネルギー活動【通称:エネ活】！』

～行動目標～

『体を動かす・育てる・守る』

～重点策～

◇子どもの体力の向上

・スポーツ大会と放課後遊び(教師主催)

・休み時間の体育館の開放

◇子どもの健康の増進

・給食室見学とお楽しみ給食の実施

◇子どもの安全の確保

・実地訓練の充実

・校内安全マップの作成

・健康状態の共有と取組改善(来室記録など)

\*重点策は随时、加筆・修正(OODA ループ)

～2年間で、次の数値目標の達成を目指す【2年次】～

智+心+体=『楽しく通える学びの場』率アップ！！(子どもの意識調査)

子ども・保護者・地域の方・教職員の評価⇒『目指す子ども像』に近づいているか【学校評価・授業参観・学校運営協議会 等】

## 一番の理解者として

- ・健康管理
- ・子どもとの会話
- ・家庭学習の支援

家庭  
保護者

## 身近な支援者として

- ・安全管理
- ・子どもへの声掛け
- ・教育活動の支援

地域  
地域の方

学校・教職員

子どもの伴走者

\*PDCA

学校・家庭・地域との連携・協力=『開かれた教育課程』・幼保小の接続=『架け橋プログラム』・小中の連携=『小中一貫教育』